

財団だより

# 多摩川

2000.9 第87号



アズマモグラ  
(モグラ科)

体長 8~18cm。河原の草地に住み、ミミズなどを食う。



多摩川水上バス (7月11日・川崎発着場)

## ■多摩川現風景■

### (43) 多摩川水上バス

多摩川は水深が浅く、堰などがあり、大型の船舶が航行することは難しいとされ、荒川のように岩淵水門あたりまで、かなり中流まで観光船が運行されるのに比べて、ちょっと淋しかった。

昨年(2000年)から、夏季だけ(7月8日~8月25日)ではあるが、川崎発着場(川崎駅西口から8分)からお台場の青海客船ターミナルまで片道1時間20分の船旅(往復もあり)が楽しめるようになった。

7月の平日の便に乗船してみた。臨時の乗船受付が4張りのテントの下に設けてあり、出発時刻が近くなると、どこからともなく乗船する人々が集まってくる。平日の昼間であるせいか、中年のご婦人のグループが一番多くにぎやかである。

おばあちゃんと娘さんとお孫さん、一人できた青年。などなどいろいろな人たちが船に乗る。

平日なので、150人の定員に十分余裕がある。土曜、日曜は満席だそうである。水深の関係もあり、潮の満ち干で運休の日もあり、1日4便の日と5便の日がある。

予約名簿のチェックと片道1,000円の乗船料の支払いを終わると、乗船する。

水上バスとはいうものの、全面ガラス張りの明るい船室はゆったりしたソファの客席でなかなかの豪華なものである。

客室の屋根はデッキになっており、川風が心地よい。川崎発着場は災害時の緊急交通網の一部としても使われ、多目的な栈橋でもある。右岸の六郷橋、工場群、国

の登録有形文化財の答申を受けた河港水門、大師橋を見ながら、多摩川河口に至る。船内では、ガイドさんの音声による案内があり船旅を楽しめる。汽水性植物の群落や干潟の水鳥を近くに見ることができる。左岸の羽田空港をぐるりと廻る航路で、ひっきりなしに離着陸する飛行機にこどもたちは大喜びである。

中央防波堤、大井埠頭をとおり、青海埠頭につく。

お台場はご存知のとおり注目の人気スポットであり、レインボウブリッジ、海浜公園、パレットタウンなどがあり、休日はこのコースがお勧めである。

乗船予約 (044-245-2847)

お問い合わせは (044-200-2327)

川崎市観光協会連合会

### ●関連する財団の研究助成

#### <学術研究>

#### ①多摩川の水利開発史と水利調整に関する研究

1982年 宮村忠 日本河川開発調査会 (No. 52)

#### ②川崎・多摩川エコミュージアム構想をモデルとした市民・行政・企業・専門家におけるパートナーシップ型地域づくりに関する調査研究

進士五十八 東京農業大学 (現在、印刷中)

#### ③世田谷・多摩川における市民ボランティア、学生、行政のパートナーシップ型の河川舟運振興策と癒やしの川づくりのための実践的な調査研究

長野正孝 武蔵工業大学 (現在、研究中)

#### <一般研究>

#### ①多摩川における水面景観の変化に関する調査研究

1955年 島村勇二 聖徳大学 (No. 89)

## 多摩川散歩

### ■ 森と湧き水・暮らしと歴史 ■

「世田谷区 国分寺崖線散策マップ」

財団法人せたがやトラスト協会

世田谷の自然と歴史的遺産の保全を進めるせたがやトラスト協会では、この度「世田谷区国分寺崖線散策マップ」を発行しました。

国分寺崖線は、10万年～6万年前の多摩川が削った河岸段丘で、立川から国分寺、小金井、三鷹、調布を通り世田谷の等々力深谷まで約25km続く、高さ10～20mの斜面林です。

国分寺崖線は湧水地が多く、この湧水が野川となって流れ、多摩川に注いでいます。水と緑の自然環境は、生物相も豊かで、今でもゲンジボタルをはじめカブトムシやクワガタなどの昆虫、イチリンソウやキンラン、イカリソウ、カタクリなどの山野草といった都会では貴重な生物が生息しています。また、新石器時代、縄文時代、古墳時代といった太古の遺跡や遺物が出土されており、森の恵みを受けて人が生活してきた、歴史と暮らしを今に伝える場所でもあります。

急な斜面であるため比較的最近まで開発が及ばず、武蔵野の面影を残す雑木林や湧水地が多く残されてきましたが、相続税の問題や土木技術の発

達により、眺望の良い国分寺崖線は開発が進み、年々緑が減少しています。

世田谷の緑の生命線である国分寺崖線を守りたい。そのためには、多くの方に崖線の魅力を伝え、守る気持ちを高めていくことが大切です。そんな願いを込め、当協会の設立以来11年間調査し続けてきたデータを1枚の絵地図にまとめました。林や湧水、名のある坂、動植物、社寺、近代建築物、季節ごとに見所など、世田谷区内の崖線に関するあらゆる情報を盛り込み、裏面は崖の成り立ちから自然、湧水、歴史、暮らしなど崖線の魅力を解説した完全ガイド版に仕上げました。

季節ごとに様々な表情をみせる“国分寺崖線”。マップ片手に散策してみませんか。

・サイズ：420mm×891mm 経文折り  
(A5版ケース付き)

・定 価：500円

・問合先：(財) せたがやトラスト協会

☎ 03 (3789) 6111

・通信販売

郵便振替 口座番号：00170-8-19800

名 称：(財)せたがやトラスト協会

500円(マップ代金)+300円(送料)=800円

※商品名を送信欄に記入



世田谷区 国分寺崖線散策マップ (1部分)

## 私と多摩川



川崎市中野島地先の河原にて (96.5)

### 多摩川を語る会 横山 義春

川崎では、「多摩川エコミュージアム構想」が、平成7年から討論の議題となった。

エコミュージアムとは、フランスで始まった考えであったが、「生態学的に見た自然と環境の博物館」と言うようだ。

宿河原堰右岸は多摩川の青い湛水面、ニケ領用水取り入れ口・船島稲荷の桜、上流部の松林、荻の集落・水辺のネコヤナギほかの自然の緑。また、下流部ではニセアカシアの樹林、キクイモの集落、湧水が有り、最適の場所と考えられた。ただ、通路の点で、堤防の人家側に沿線道路が有り、車が頻繁に走る事や、信号と堤防への上り路が完備されていない事が不備な点であった。

これと平行して「多摩川エコミュージアム構想」は、平成7,8年度をかけて市役所・ネットワークの住民グループにより纏まった。

それは、ふるさと資産・遺産、発見・散策のこみち、および運営拠点施設・情報センター等で構成される。また、市民・企業・行政のパートナーシップにより計画・管理・運営される。

平成9年には、河川法の改正があり、建設省・自治体・企業(団体)・住民(団体)で意見を集約する事となり、住民側として大変重要な貢献をする事となった。

宿河原堰改築工事も後半に入った頃、堰管理棟

の一部を、建設省が市役所に貸与し、市役所は住民に管理運営を委託する。という有り難い配慮を受ける事になった。これは、市役所・住民にとって、願ってもない喜びである。

このようななか、宿河原新堰は平成11年3月27日竣工式を挙げた。川崎・東京側の住民はこぞって祝賀した。そのなかで、堰管理棟の一部は前記のように、貸与されると共に、展示品として堰の構造モデル・大画面ビデオ・3本の最新式魚道の中に設置された水中ビデオ、多摩川の管理・現状を示すパソコンを2台、それらと共に圧巻であるのは全流域の1万分の1の航空写真である。

また、全壁面には、ガイドレールを巡らし絵画・参考説明図などを展示できる。

運営は、市民と行政のパートナーシップで管理され、「多摩川エコミュージアム構想」の関係市民団体と町内協の代表者で運営委員会を組織し、来館者には、市民ボランティアが説明員となっている。

名称も「ニケ領・せせらぎ館」と兩岸市民の投票名の中から決まり、4月1日開館後1年4ヶ月で3万人の来館者があった。

せせらぎ館は、多摩川とその流域の特性にふさわしい、水と緑を生かしたうるおいと、やすらぎのある快適なまちづくりをめざす、川崎市の「多摩川エコミュージアム構想」の情報センターとしてつくられたものである。

展示室と会議室等を備えた鉄筋コンクリート二階建てで、屋外には障害者用も備えたトイレもある。

開館日は、月曜を除いた曜日で10時から16時であるが、日曜・休祭日は、17時まで。その日が月曜の時は開館し火曜日を休館する。

説明員は2名が常駐し、火水木が多摩川と語る会。金土日が近くの住民団体のボランティアで受け持っている。それぞれ地域のベテラン揃いだ。

子供達が来ると、床面の航空写真でまづ自分の家を探すのに大変賑やかである。見つけると大喜びで他の展示物にまわる。

川辺はなぜか郷愁をさそう。景観・自然・雰囲気が良い。

(2000年8月10日記)

よみがえ

## 甦れ！多摩川

## ■ 海老取川を歩く ■

海老取川は大田区羽田の住宅地と羽田空港の間を流れる1.04キロばかりの短い一級河川である。河川とはいえ、多摩川の河口に接しており、東京湾の海水が行き来する一種の運河でもある。今まで踏破してきた多摩川の支川のうちではかなり異色な川である。

京浜急行空港線の穴守稲荷の駅を下車する。駅前にはお狐さまの像があり、「コンちゃん」として知られている。

東へ500米ほどゆくと弁天橋へつく。

海老取川と多摩川の合流点の突堤の先に神社が祭っており、関東大震災の時、罹災者が多数漂着した。その方々の霊を供養したものと記されている。

「武蔵野の道—六郷コース」の掲示板がある。

概要として次のように記されている。「このコースは多摩川の河口から大田区田園調布丸子橋までの多摩川左岸約11.1キロメートルの平坦な道です。六郷の渡し、矢口の渡し跡などが点在している。また多摩川河口の魚のレリーフがあり、コイ、ツチフキ、ゲンゴロウブナ、モロコ、ボラ、タムルーチ、マハゼなどがあげられている。

海老取川の右岸には、釣り舟が多数繋留されており、港のような、入江のような独特な河口の風景となっている。

このあたりの水は海水のようで、緑色の不透明な色で川底がまったく見えない。

流れも淀んでいて、どちらの方に流れているのかもさだかでない。カモメが川面に浮かんでいる。

ちょうどこの辺りの川底には京浜急行の空港線のトンネルがある旨の埋設物の表示がある。

稲荷橋は通行止めになっている。日本航空、全日空の整備倉庫が並んでいる。穴守橋は空港関係の車両で混雑している。穴守橋の欄干には飛行機の歴史がレリーフになっておりたいへんオモシロイ。

二宮忠八の玉虫型飛行機(1891年)などもとりあげられている。

いかにも空港の入口といった感じがする。

環状8号線との交叉点に来る。東京都下水道局のポンプ場がある。全日空の整備工場と海老取川にそってモノレールが走っている。

少し進んでゆくと石岸に荏原製作所がある。よく手入れされた芝生が、あまり人が来ないせいか汚れていない。お嬢さんが犬をつれて散歩していて、犬が私をめがけてとびついてくる。しばらく犬ころをかまってみる。犬の種類をきくと「ワイヤ フォクス テリアです。」と答える。

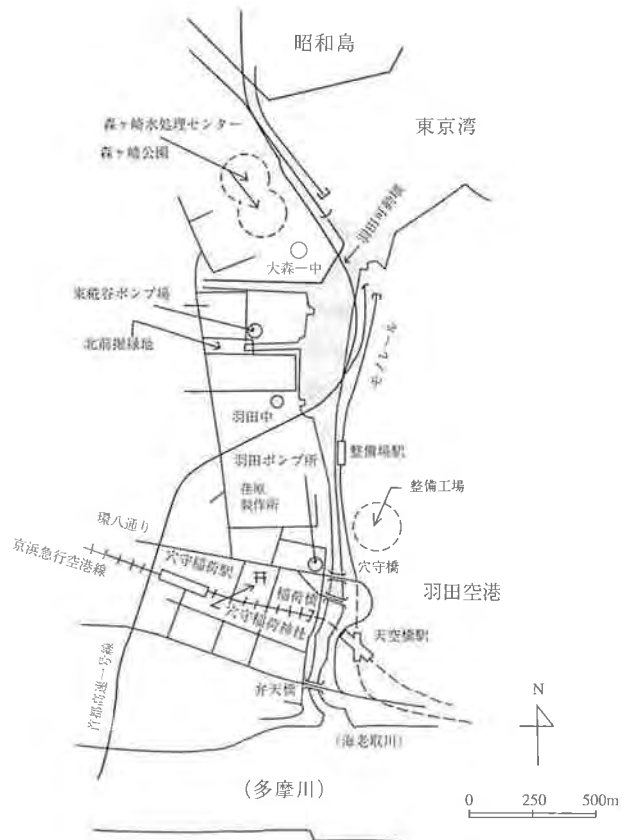
東京モノレールの整備場駅にくる。下水道局の南部第一管理事務所羽田ポンプ所がある。穴守稲荷神社に来る。神楽殿もあるわりと大きな社である。

羽田中学校あたりは団地がある。下水道局の東糞谷ポンプ場に来る。しばらく行くと水門があり堀が入りこんでいる。

北前堀緑地があり、かつての堀は公園になっている。

大森一中のそばを歩いてゆく。森ヶ崎水処理センターと森ヶ崎公園がある。首都高速1号羽田線の羽田可動橋が前方に見える。

このあたりで海老取川は東京湾に流入する。

かみ せみ  
翡翠

## 首都圏における多摩川およびその流域の環境浄化に関する 基礎研究、応用研究、環境改善計画のための研究、募集

財団法人とうきゅう環境浄化財団（会長 横田二郎）は、昭和50年度より多摩川およびその流域の環境浄化を促進するために必要な研究を毎年公募してきました。既に388件の研究に助成金を交付し、310件の研究成果が完成しています。

平成13年度も従来と同様、意欲的な研究を募集いたします。

### 記

#### 1. 研究対象者

学識経験者の方はもちろん、一般の方でも研究に意欲のある方であれば、どなたでもご応募いただけます。

#### 2. 研究対象テーマ

- ① 産業活動または住生活と多摩川およびその流域との関係に関する調査および試験研究
- ② 排水・廃棄物等による多摩川の汚染の防除に関する調査および試験研究
- ③ 多摩川およびその流域における水の利用に関する調査、試験研究
- ④ 多摩川をめぐる自然環境の保全、回復に関する調査、試験研究

3. 応募方法 当財団所定の申請用紙をご請求され、学術研究・一般研究いずれかを選択して、ご申請下さい。

4. 助成の決定 平成13年3月の当財団選考委員会にて選考のうえ、理事会で決定。

#### 5. 研究の種別

研究の種別	学術研究	一般研究
研究の区別	環境問題改善のための調査研究で、専門性が高く、その分野の学識経験を必要とするもの。	環境問題改善のための調査研究で、一般の市民が、特別の学識経験を必要とせず取り組めるもの。
	(財団の過去の事例を参照)	
1件当たりの助成金総額の上限額	600万円	300万円
単年度の助成金上限額	300万円	150万円
研究期間	最長2ヶ年	最長2ヶ年
助成対象費目	(1) 器具備品費 研究に必要な機器（装置）、器具、備品等。 研究機関（大学等）に所属されてる場合は、原則対象外。 (2) 消耗品費 調査研究に用いる各種材料、部品、薬品等。 (3) 旅費 調査研究のための交通費、宿泊費等。 (4) 謝金 調査研究のために臨時に雇った人の謝金等。 (5) その他 機器・備品等の借料、通信費、会議費、その他。	

6. 公募締切日 平成13年1月15日

\*応募についての詳細は、財団事務局にお問い合わせ下さい。

### ▶▶▶ 寄贈文献の紹介 ◀◀◀

・「心中緑哉」（しんちゅうりよくさい）  
著者 井上 元 2000年（樹新講社）

本書は著者が発行人の環境緑化新聞に1993年から2000年4月まで掲載したコラム「緑風」を中心に190編を収録している。題材は専門の造園に関するものだけでなく、時々の世相をテーマに幅広く取り上げている。

・「東急沿線文学散歩」  
著者 藤井武夫・本間利夫 2000年（樹三水社）

本書は著者の藤井氏が1974年1月から1977年12月まで東急沿線新聞に沿線散歩と題して掲載したものに現在の状況を追加しまとめ30編を収録している。「太平記と多摩川」「玉川の文学散歩」「広重の玉川秋月」などがある。

## 第6回 助成研究ワークショップを終えて

毎年、暑さの中で行われる恒例の財団主催の「助成研究ワークショップ」が第6回を迎え、8月4日、国連大学でおこなわれました。

時代に応じたテーマを選び、助成研究者の研究のうち、テーマに副う研究報告を選び出し、ワークショップを行うものであります。

地味であるが、中身の充実した多くの研究にスポットライトを当てて皆様にご紹介する機会でもあります。

教養的、解説的な一般のシンポジウムと異なり、専門的、学究的で、多少難解なところもあるので、あまり参加者の興味を惹かないのではと当初考えていましたが、蓋をあけてみると、なかなかの人気で、今年も、キャンセル待ちの盛況でありました。

今年のテーマは、「野生生物と人との共生」でした。

姿を消してしまったトキ、絶滅した特別天然記念物の野生のコウノトリ、或いは絶滅の恐れのあるオオタカ、レッドデータブックでも多くの昆虫などが絶滅の恐れがあるとされています他方、サル、イノシシ、シカなど人の餌付けなどで、増えすぎてしまい、畑や山林に侵入して、農作物などを荒らしたいへんな迷惑を人にかけている事例も増えてきています。

人に飽きられ、捨てられたペットのアライグマ、台湾リスなどが野生化して繁殖し、被害を起こしたり、生態系を乱している事例もあります。人と野生生物との関係が適切でないところから、いろいろな問題が起こっています。

世界有数の大都市「東京」の郊外、多摩川流域でも同様な問題が生じています。

野生生物の実態を知り、つきあいかたを学ぶためにも、このワークショップが良い意味でのヒントになればと考えます。

財団理事長、新井喜美夫の挨拶に引き続き、前半は研究者による報告が次のようにおこなわれました。

- 報告1 「多摩川集水域におけるツキノワグマの生態に関する研究」  
山崎晃司（茨城県自然博物館 学芸員）
- 報告2 「多摩川流域における新テレメトリーシステムを用いたアナグマの環境選択」  
金子弥生（建設省土木研究所 環境部緑化

- 生態研究室研究員）
- 報告3 「多摩川流域のオオタカの生息状況の実態調査とその保護策に関する調査研究」  
尾崎 洋（東京オオタカ保護連絡会会員）

コーディネーターは芳村、コメンテーターはよこはま動物園の増井光子園長にお願いいたしました。

このワークショップの狙いは、最近、野生生物の保護と管理の問題がにわかにクローズアップされてきている現状を調査しこれに対応することにあります。

野生生物一般に関する解説ではなく、研究者のフィールドワークの発表に重点が置かれており、研究の現場をかいま見ることとなり、参加者の興味をそそるところがありました。

研究報告の発表は時間的に制約がありましたが、参加者の皆様は熱心にメモをとりながら聞き入っておられました。

後半の質疑応答も、参加者から、たいへん熱心な、よい質問がありました。

熱心にメモをとられる参加者、行政の野生生物の保護管理施策についても積極的な提言がありました。後半の質疑応答でも会場から多数発言があり、内容も優れたものが多く見うけられました。

おしまいのコメントは、増井光子園長から、野生生物の保護管理の現状と課題についてのお話があり、研究に対しても丁寧な説明がありました。上野動物園、多摩動物公園など、永年の経験の蓄積があり、種の保存、ブーストックなど新しい試みにも挑戦しておられる現場を知った研究者の一人の先輩としての的確な指摘であり、研究者の今後の研究に対しいへん有益なもだったと思います。

会場の参加者、パネリスト、コメンテーターなど全員のスムーズな進行により、ほぼ予定の時間でワークショップは終了しました。

今年も、申込者全員の参加のご希望を叶えられず、主催者として、ちょっと残念なところもありましたが、来年のワークショップに向けて新しい展開を目指したいと思っています。

これからも、財団の助成研究が時代に先駆けて、いろいろな環境問題の解明に役立つことを希望したいと思います。

- 発行日 平成12年9月1日
- 編集兼発行 (財)とうきゅう環境浄化財団  
〒150-0002 渋谷区渋谷1-16-14  
(渋谷地下鉄ビル内)  
TEL (03) 3400-9142  
FAX (03) 3400-9141

ホームページ <http://www.246.ne.jp/~tokyuenv>

\*印刷所 雄文社 〒336-0001 浦和市常盤9-11-1 TEL (048) 831-8125

